

## 戸田村

### 地形概況

井田火山・達磨火山の西斜面が海にせまり、海食崖の発達も著しい。戸田大川は新田から谷底低地を流下し戸田湾に注ぐ。湾は御浜崎の砂礫州で囲まれる。井田・舟山は侵食により緩斜面が発達し、井田の海岸には閉塞湖の明神池がある。

### 地質概況

安山岩質溶岩からなる達磨山火山の範囲は広い。戸田新田あたりが火口と考えられ、火通集塊岩が分布する。北部の井田火山も安山岩質溶岩からなり、断層で変位している。舟山・井田は砂礫層の堆積地で、海岸には砂礫堆砂礫嘴が形成されている。

### 気象概況

年平均気温は推定 16.0℃、年平均降水量が推定 2,100mm で冬季に暖かく夏にも高温にならないため、気温較差が小さい。降水量は県平均値よりやや少なく、日の当たる日が 50%以上あり、冬季には西風が吹く日が多く、その風速が平均 4m 程度である。

### 災害事例 地震

- 1944 年 12 月 7 日 (昭和 19 年) 東南海地震 M=7.9  
県中・西部に大被害があったが、伊豆では比較的軽微であった。戸田での震度は 4 である。
- 1930 年 11 月 26 日 (昭和 5 年) 北伊豆地震 M=7.3  
丹那断層を生じた地震、伊豆北部を中心に被害が大きかったが、当地では住家の全潰 1 戸の被害に止まった。
- 1923 年 9 月 1 日 (大正 12 年) 関東地震 M=7.9  
東京・横浜を潰滅させた大地震。戸田村で、家屋全潰 2 戸(0.3%)の被害があった。
- 1854 年 12 月 23 日 (安政元年) 安政東海地震 M=8.4  
県下に大被害を与えた地震であるが、戸田では震度 5 であった。

### 災害事例 津波

- 1854 年 12 月 23 日 (安政元年) 安政東海地震津波  
戸田では総戸数 593 戸のところ、流失 24 戸、潰家 81 戸、大破 33 戸の被害を受け、そのため 30 人の水死が出た。津波の高さは大浦 3.5~5.1m、井田 3m 以下と考えられている。また古記録によると大浦での津波の到達時間は、地震の発生後 5 分以内であった。

### 災害事例 豪雨

- 1961 年 6 月 28 日(昭和 36 年)  
大川・むたい川堤防決壊し、橋流失 5 箇所、全壊家屋 29 戸、流失家屋 11 戸、床上浸水 827 戸の被害を受けた。また 1 人が行方不明となった。